

# いのちの権利は ゆずれない

2013年1月 刊行

## 骨格提言・権利条約にもとづく障害者総合福祉法を

障害者自立支援法に異議あり！ 応益負担に反対する実行委員会／編

佐藤 久夫氏



骨格提言の内容と意義・障害者総合支援法の問題点

藤原 精吾氏



障害者の人権保障の歩みのなかで運動のあり方をとらえる

峰島 厚氏



骨格提言・権利条約にもとづく総合福祉法を



- ◆ 難病患者が向きあう「支援法」の問題
- ◆ 障害の重い人の日中活動と就労支援
- ◆ 重度障害者が地域で生活するために
- ◆ 子どもたちの療育の現場で感じる矛盾



障害者自立支援法違憲訴訟は、2010年の「基本合意」により政府との和解が成立。それにもとづいて当事者・関係者が広く議論してまとめた「骨格提言」が、新たな法律策定の基本となるはずだったが、自立支援法を焼き直した「総合支援法」が2013年4月から施行されることになった。しかし、しょうがい者の生きる権利はゆずることができないもの。「難病の谷間問題」「差別禁止法」「利用者負担」などにも具体的に触れながら、骨格提言と障害者権利条約にもとづいた総合福祉法を求める運動をあらためてつくるため、9月のシンポジウムをもとにブックレットとして発信！！

かがわ出版

〒602-8119 京都市上京区堀川通出水西入 <http://www.kamogawa.co.jp>  
TEL075(432)2868 FAX 075(432)2869 info@kamogawa.co.jp

定価630円(税込)

注文書	書店印	かがわ出版 TEL 075(432)2868 FAX 075(432)2869		(本体価格600円) 定価630円(税込)
		いのちの権利はゆずれない かがわブックレット・192		
		ISBN978-4-7803-0589-0 C0336 ¥600E		
		注文者のお名前		
		住所		
		Tel		